

SYNAPSE CardioVacular について

富士フイルムメディカル株式会社
IT ソリューション事業本部 システムエンジニアリング部
内海 健

2009年4月に正式販売を開始した SYNAPSE CardioVascular は心臓エコー領域で高名な米国インディアナ大学 Dr. Feigenbaum 監修の元に作られた医師による現場の声を取り入れたシステムであり、開発元の米国では数々の賞を取るほど認められているシステムであり、多くの循環器専門病院にて使用実績を持つシステムである。本システムはストレスエコーのシャッフル表示、過去画像・異なる装置で撮影された画像との比較・各社超音波画像診断装置で計測された計測値の取得が可能であり、ACC・ASE 等のガイドラインに基づく構造化レポートをユーザーに提供している。

本システムは心臓エコー検査のみならず、心臓カテーテル検査、心筋シンチまで循環器領域の検査項目に対応、各検査結果にすばやくアクセスする事を可能とし総合的判断の元での診断が可能となる。心エコー装置では取得された画像だけでなく計測値の取り込みを可能とし、更にワークステーションにおいて再計測も可能なシステムである。これにより検査中に計測をするだけでなく、検査後に任意の場所の再計測も可能となり、新しいワークフローをご提案が可能。またその他循環器装置向け解析機能として LVA・QCA・心筋シンチ解析ソフトウェアを搭載している。

検査内容ごとに準備された構造化レポートは入力時間の短縮だけでなく、シェーマへの自由な書き込み、任意の画像・動画の貼り付けも可能となり、より表現豊かなレポートが実現。

放射線科 PACS SYNAPSE との連携により専用ワークステーションで解析された解析結果・作成されたレポートを電子カルテ等院内端末へ配信。ユーザーは診療科を問わず患者画像・情報へのアクセスがどこでも可能になる。